

部局名	健康福祉部	所属名	国保年金課	所属長名	皆見 隆明	電 話	483-1151 内線3150
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	9032		事務事業名称		高額療養費貸付金					短縮コード		経常		臨時	9032	
予算区分	会計	10	国民健康保険事業特別会計		款	08	保健事業費		項	02	保健事業費		目	03	高額療養費貸付金	
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他					根拠法令等		国民健康保険法第57の2 国民健康法施行令第29条の2・第29条の3・第29条の4 国民健康保険法施行規則第27条の17 八千代市国民健康保険条例第8条の3								
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																
医療費が高額になり支払いに困った場合に、世帯主に対して無利子で資金を貸し付け、経済的負担の緩和を図る。昭和52年4月1日より制度開始																
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測						総合計画の施策体系	5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして							
平成19年4月から若年世代の高額療養費現物給付が始まり、申請件数が大幅に減少した。その後は横ばいとなっていたが、近年の厳しい経済環境の下、現物給付が受けられない保険料滞納世帯の増加に伴い、再び増加に転じた。平成22年度の申請件数は一旦落ち着いたが、医療技術の発達に伴う医療費の高額化も進んでおり、支払いに困る世帯が今後も高止まりで推移していくと予想される。なお、申請件数における滞納者の割合は、現物給付化の実施前は14%であったのに対し、実施後は80%を超えており、今後も国民健康保険被保険者の経済事情による影響を大きく受けるものと考えられる。							大項目（節）	03	社会保障							
							中 項 目	01	国民健康保険							
							小項目（施策）	01	財政運営の健全化							
							細 項 目	02	医療費（給付）の適正化							
						実施計画の計画事業										
計画事業の位置付けの有無				<input type="checkbox"/>	計画事業期間		～			計画事業費		千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	八千代市国民健康保険被保険者のうち、高額療養費に該当する世帯で一部負担金の支払いが困難な世帯							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成22年度に実際に行ったこと： 高額療養費の貸付に関する事務 （医療機関から受領した請求書の支払が困難な場合に、高額療養費支給予定額の9割を上限として貸付額を算定。貸付額と自己負担分を明示した計算書を申請者に渡し、申請者は自己負担分を医療機関に支払う。また、申請者から診療報酬点数などの証明と共に申請書を提出してもらい、その申請書を審査後、委任払により八千代市が医療機関に貸付相当額を支払う。）							
	※平成23年度に計画していること： 高額療養費の貸付に関する事務 （医療機関から受領した請求書の支払が困難な場合に、高額療養費支給予定額の9割を上限として貸付額を算定。貸付額と自己負担分を明示した計算書を申請者に渡し、申請者は自己負担分を医療機関に支払う。また、申請者から診療報酬点数などの証明と共に申請書を提出してもらい、その申請書を審査後、委任払により八千代市が医療機関に貸付相当額を支払う。）							
意図 （何を狙っているのか）	医療費の自己負担金が高額になった世帯に対する、経済的負担の緩和							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 1 年度	2 2 年度		2 3 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	高額療養費該当世帯	世帯	6, 340	6, 000	6, 302	6, 300	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	高額療養費貸付件数	件	87	96	72	60	
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	経済的負担の軽減を感じている世帯	%	100	100	100	100	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	9032	事務事業名称	高額療養費貸付金				所属名	国保年金課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	<input type="checkbox"/> 改革・改善して継続			限度額認定証が交付できない保険料滞納世帯には貸付制度を利用するよう促しており，事業は現状のまま継続していく。			
		<input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善						
		<input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小						
		<input type="checkbox"/> 統合・役割見直し						
	<input type="checkbox"/> その他							
<input type="checkbox"/> 廃止・休止								
<input type="checkbox"/> 事業完了								
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			申請件数の多くを占める保険料滞納世帯の状況により，貸付件数は今後も上下すると見込まれるが，経費・成果については不変のまま継続するものと考えられる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
			不 変	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
			低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
特になし									

所属長コメント	限度額認定証制度による高額療養費の現物給付化に伴い，償還払いの対象者数は減少しているが，貸付制度としては国保料未納世帯が利用することとなるため，収納担当との連携強化と事務の効率化に努める。								
評価調整委員会評価	<input type="checkbox"/> 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	<input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善								
	<input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小								
	<input type="checkbox"/> 統合・役割見直し								
<input type="checkbox"/> その他									
<input type="checkbox"/> 廃止・休止									
<input type="checkbox"/> 事業完了									
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続									